

**BUSINESS
REPORT
2009**

第97期 株主通信

平成21年1月1日から平成21年12月31日まで

 **TOAGOSEI**

証券コード 4045

東亜合成株式会社



代表取締役社長

はしもと ふとし
橋本 太

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
また、平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

平成21年12月期における経営環境と業績のご報告

当連結会計年度（平成21年1月1日から平成21年12月31日まで）におけるわが国経済は、一部に持ち直しの動きがみられましたが、民間設備投資、個人消費は依然として低調で、本格的な回復には至りませんでした。

化学業界におきましても、需要の回復は力強さに欠け、原燃料価格の上昇とも相まって、厳しい事業環境が続きました。

このような状況の下、当社グループは、徹底したコスト削減に取り組み、不採算事業からの撤退、グループ会社事務の集約など事業活動の効率化を推進し、業績の回復に全力で取り組んでまいりました。

しかしながら、当連結会計年度の売上高は、景気の悪化に伴う需要減少の影響を受け、1,400億3千3百万円（前年度比13.9%減収）と大幅に減少しました。

損益につきましては、営業利益は、固定費削減や業務改善などの合理化努力も売上高の減少を補いきれず、111億5千8百万円（前年度比4.4%減益）となりました。経常利益は、為替変動が前年より小幅であったことから営業外損益が改善しましたため、115億3千8百万円（前年度比4.4%増益）となりました。また、当期純利益は、事業撤退に伴う減損損失や関連損失を特別損失に計上しましたため、過年度評価損を当期に認容したことから法人税等は減少しましたが、35億4千1百万円（前年度比86.8%増益）にとどまりました。

利益配分について

当社は、利益配分の決定にあたり、当期の業績、今後の事業展開、業績の進展等を総合的に勘案して、1株当たり6円を安定配当の標準とし、株主の皆さまへの安定的な利益還元に努めることを基本としております。また、内部留保資金につきましては、健全な財務体質を確立・維持することの重要性に留意しつつ、今後予想される競争激化に備えるための研究開発および設備投資の原資として活用してまいります。

なお、当期の期末配当金につきましては、1株当たり3円とさせていただきます。当期は中間配当金3円をお支払いしておりますので、1株当たりの年間配当金は6円となります。

次期の配当金につきましては、1株当たり中間配当金3円、期末配当金3円とし、年間配当金は1株当たり6円とさせていただきます予定であります。

対処すべき課題

当社グループは、平成20年から、高付加価値製品へのシフトをさらに加速し、新たな製品や事業の創出を図るとともに、基盤事業の強化を進めることを重点課題とした中期経営計画“ALL TOA 2010”に取り組んでまいりました。

平成22年度の当社グループを取り巻く事業環境は、景気の回復が期待されるものの、先行きは不透明であり、予断を許さない状況が続くものと予想されます。そうした事業環境の下で、本年度は中期経営計画“ALL TOA 2010”の仕上げの年として、次の飛躍に向けた布石を確実に打ち、将来ビジョンへステップアップするための基盤を確固たるものとしてまいります。

具体的には、次の三つを重点施策として実施し、早期に立ち上げることにより、収益の拡大を図ってまいります。

1. 名古屋工場に隣接するかたちでR&D総合センターを新設いたします。同時にソフト面においても、

製品開発とコーポレート研究の役割を明確にした上で重複を排除し、それぞれの成果を早期に実現するよう努めてまいります。

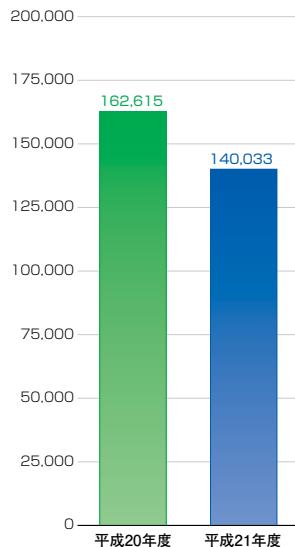
2. 東南アジア、インドにおける需要の増大に対応するため、シンガポールにおいてアクリルポリマーの製造を開始いたします。
3. 世界的に拡大している飼料添加物の需要に応えるため、飼料添加物の中間原料製造事業を拡大いたします。

また、グループ一丸となって企業の社会に対する責任を着実に果たし、将来にわたり社会から信頼され、持続的に成長する企業グループであり続けたいと考えております。

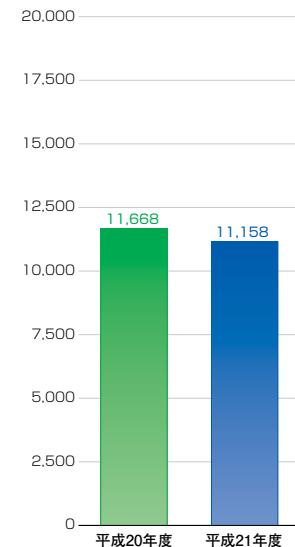
株主の皆さまにおかれましては、今後とも引き続き変わらぬご支援、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

■平成21年度(連結) (単位:百万円)

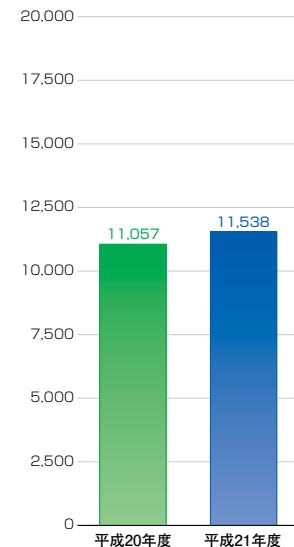
[売上高]



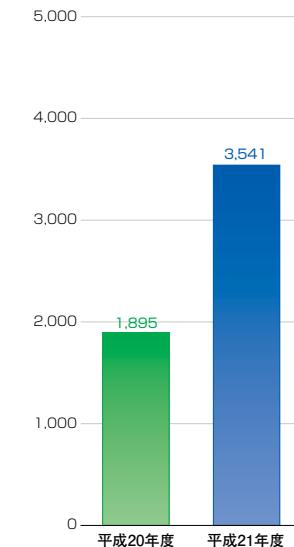
[営業利益]



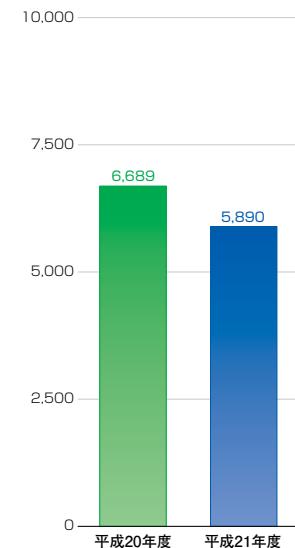
[経常利益]



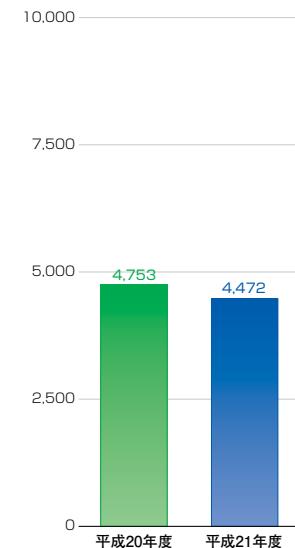
[当期純利益]



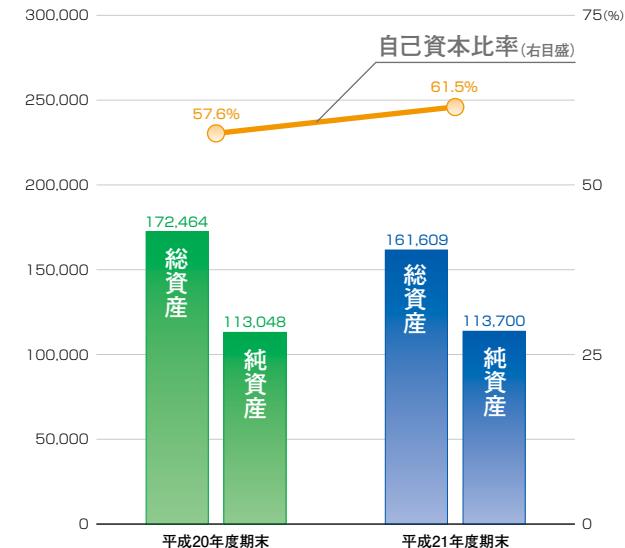
[設備投資額]



[研究開発費]



[総資産・純資産・自己資本比率]



■ 連結売上高セグメント別構成の推移 (単位:%)



■ 連結セグメント別情報 (単位:百万円)

セグメント	平成20年度		平成21年度		増 減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
基礎化学品	55,165	5,650	45,646	4,283	△9,518	△1,367
アクリル製品	51,057	1,379	41,460	1,411	△9,597	31
機能製品	24,380	3,906	22,829	4,311	△1,550	405
樹脂加工製品	30,550	1,299	28,599	1,791	△1,951	492
その他事業ほか	1,460	△568	1,497	△640	36	△71
合 計	162,615	11,668	140,033	11,158	△22,581	△509

基礎化学品事業

Commodity Chemicals

苛性ソーダおよび無機塩化物は、期初の需要減少の影響が大きく、期後半から緩やかに需要が回復し始めましたが、通期では出荷が減少しましたため、減収となりました。

塩素系有機溶剤は、需要の減少により大幅な減収となりました。

液化塩化水素および銅製品は、期央からは需要回復したものの、期前半の落ち込みが大きく大幅な減収となりました。

工業用ガスは、需要の減少により大幅な減収となりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は456億4千6百万円(前年度比17.3%減収)、営業利益は42億8千3百万円(前年度比24.2%減益)となりました。

アクリル製品事業

Acrylic Products

アクリル酸エステルは、期前半の出荷低迷の影響が大きく、期後半からようやく緩やかな需要の回復がみられましたが、通期では大きく出荷が減少しましたため、大幅な減収となりました。

アクリル系ポリマー、高分子凝集剤は、いずれも需要の回復が遅れたため、大幅な減収となりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は、414億6千万円(前年度比18.8%減収)となりましたが、営業利益は、在シンガポール子会社のコスト低減等により14億1千1百万円(前年度比2.3%増益)となりました。

機能製品事業

Specialty Chemicals

接着剤は、一般用の瞬間接着剤「アロンアルファ」は年間を通じて出荷が堅調に推移しましたが、国内向け工業用接着剤の需要の回復が遅れ、接着剤全体では大幅な減収となりました。

光硬化型樹脂「アロニックス」は、電子材料分野向けなどの需要が順調に回復しましたので、増収となりました。

開発製品は、シリコン系高純度ガスの出荷が好調に推移したものの、無機イオン交換体「IXE(イグゼ)」、銀系無機抗菌剤「ノバロン」の需要の回復が遅れ、大幅な減収となりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は、228億2千9百万円(前年度比6.4%減収)となりましたが、営業利益は、高収益製品の拡販等により43億1千1百万円(前年度比10.4%増益)となりました。

樹脂加工製品事業

Plastics

介護・福祉関連製品は、出荷が堅調に推移しましたため増収となりました。

管工機材製品、エラストマーコンパウンドは、需要低迷や需要回復の遅れにより出荷が減少しましたため、減収となりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は、285億9千9百万円(前年度比6.4%減収)となりましたが、営業利益は、コスト低減等により17億9千1百万円(前年度比37.9%増益)となりました。

その他の事業

Others

新規製品の研究開発事業、設備等の建設・修繕事業、輸送事業などにより構成される当セグメントは、売上高は14億9千7百万円(前年度比2.5%増収)、営業損失は6億6千6百万円となりました。

TOPICS

1

シンガポールにおける アクリルポリマー製造設備の新設を決定



Toagosei Singapore Pte. Ltd.

当社は、子会社の Toagosei Singapore Pte. Ltd. において、新たにアクリルポリマーの製造・販売を行うことを決定し、製造設備を新設いたします。新設備は2010年11月に完成する予定で、主に紙や洗剤を生産する際に利用される分散剤（分散の均一性を高める薬剤）の製造を行い、2015年に10億円の販売金額を見込んでいます。

これまでシンガポールでは、アクリル酸エステル製造・販売を行ってまいりましたが、これに加えて付加価値の高い川下製品の展開に注力するとともに、拡大を続ける中国、インド、東南アジア市場における需要の増大にお応えしてまいります。

TOPICS

2

「第14回 中国国際塗料展示会」へ出展



中国（江蘇省）で光硬化型樹脂「アロニックス®」の製造・販売を行っている当社子会社の張家港東亞迪愛生化学有限公司（以下、TDZ）は、2009年11月18日から3日間にわたり、上海で開催された「第14回 中国国際塗料展示会」に初めて出展しました。

中国の塗料生産量は日本の約4倍、アメリカを抜いて800万t/年に迫ろうとしています。今回の展示会も急激に拡大する市場の勢いが感じられ、TDZのブースで配布したカタログは約2,000部、担当者が交換した名刺の数は600枚を超えました。

UVインキや各種ハードコート用に順調に売上を拡大してきた「アロニックス®」ですが、今回の展示会を通じ現地企業からの注目度の高さを実感し、中国市場でのさらなる飛躍を確信しました。

連結貸借対照表

	当 連 結	前 連 結
	会 計 年 度 (平成21年12月31日)	会 計 年 度 (平成20年12月31日)
資 産 の 部		
流 動 資 産	75,035	80,856
現金および預金	12,778	9,914
受取手形および売掛金	44,019	49,058
たな卸資産	15,862	19,352
繰延税金資産	984	663
その他	1,506	2,009
貸倒引当金	△116	△141
固 定 資 産	86,574	91,607
有 形 固 定 資 産	60,273	65,186
建物および構築物(純額)	18,891	19,345
機械装置および運搬具(純額)	19,294	22,681
工具器具備品(純額)	2,462	2,868
土地	18,050	18,006
リース資産(純額)	216	60
建設仮勘定	1,358	2,223
無 形 固 定 資 産	1,828	1,915
のれん	565	870
リース資産	12	16
その他	1,250	1,028
投資その他の資産	24,472	24,505
投資有価証券	13,995	13,434
長期貸付金	47	100
固定化債権	8,711	9,110
前払年金費用	1,607	1,219
繰延税金資産	2,523	2,676
その他	3,138	3,318
貸倒引当金	△5,550	△5,353
資 産 合 計	161,609	172,464

(単位:百万円)

	当 連 結	前 連 結
	会 計 年 度 (平成21年12月31日)	会 計 年 度 (平成20年12月31日)
負 債 の 部		
流 動 負 債	32,097	46,676
支払手形および買掛金	16,786	20,467
短期借入金	5,588	11,550
コマーシャル・ペーパー	—	6,000
リース債務	68	20
未払法人税等	1,568	1,106
繰延税金負債	—	1
賞与引当金	141	183
製品回収引当金	7	5
その他	7,937	7,340
固 定 負 債	15,811	12,739
長期借入金	10,140	7,937
リース債務	172	60
繰延税金負債	1,086	1,167
退職給付引当金	568	655
役員退職慰労引当金	113	122
その他	3,730	2,795
負 債 合 計	47,909	59,415
純 資 産 の 部		
株 主 資 本	98,704	98,999
資本金	20,886	20,886
資本剰余金	15,086	15,085
利益剰余金	65,638	63,904
自己株式	△2,907	△877
評 価 ・ 換 算 差 額 等	744	272
その他有価証券評価差額金	1,469	1,047
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	△725	△775
少 数 株 主 持 分	14,250	13,776
純 資 産 合 計	113,700	113,048
負 債 ・ 純 資 産 合 計	161,609	172,464

連結損益計算書

(単位:百万円)

	当 連 結	前 連 結
	会 計 年 度	会 計 年 度
	自 平成21年 1月 1日 至 平成21年 12月 31日	自 平成20年 1月 1日 至 平成20年 12月 31日
売 上 高	140,033	162,615
売 上 原 価	100,764	121,309
売 上 総 利 益	39,268	41,306
販 売 費 お よ び 一 般 管 理 費	28,110	29,637
営 業 利 益	11,158	11,668
営 業 外 収 益	1,448	1,367
受 取 利 息	138	183
受 取 配 当 金	284	424
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	361	265
固 定 資 産 賃 貸 料	142	175
雑 収 入	521	319
営 業 外 費 用	1,067	1,978
支 払 利 息	279	313
為 替 差 損	77	914
環 境 整 備 費	142	-
遊 休 設 備 費	224	-
雑 支 出	344	751
経 常 利 益	11,538	11,057
特 別 利 益	70	118
固 定 資 産 売 却 益	11	15
投 資 有 価 証 券 売 却 益	0	36
貸 倒 引 当 金 取 崩 益	58	66
特 別 損 失	4,403	4,307
固 定 資 産 処 分 損	1,063	837
減 損 損 失	2,486	674
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	287	2,006
投 資 有 価 証 券 評 価 損	10	777
関 係 会 社 株 式 評 価 損	65	-
出 資 金 評 価 損	-	10
事 業 撤 退 関 連 損 失	490	-
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	7,205	6,869
法 人 税	2,844	4,284
法 人 税、住 民 税 お よ び 事 業 税	3,392	3,469
法 人 税 等 調 整 額	△547	814
少 数 株 主 利 益	819	689
当 期 純 利 益	3,541	1,895

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当 連 結	前 連 結
	会 計 年 度	会 計 年 度
	自 平成21年 1月 1日 至 平成21年 12月 31日	自 平成20年 1月 1日 至 平成20年 12月 31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,701	13,280
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,174	△8,776
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,992	△4,057
現金および現金同等物に係る換算差額	27	△330
現金および現金同等物の増減額	2,561	115
現金および現金同等物の期首残高	9,826	9,710
現金および現金同等物の期末残高	12,387	9,826

設立	昭和17年3月31日		
資本金	20,886百万円		
従業員数	連結2,561名 単独845名(平成21年12月31日現在)		
事業所	本 店	東京都港区西新橋一丁目14番1号(〒105-8419) 電話 東京(03)3597-7215(代表)	
	大 阪 支 店	大阪市北区中之島三丁目3番3号 中之島三井ビル11階(〒530-0005)	
	名 古 屋 支 店	名古屋市中区錦一丁目4番6号 三井生命名古屋ビル6階(〒460-0003)	
	四 国 営 業 所	坂出市昭和町二丁目4番1号 坂出工場内(〒762-0004)	
	福 岡 営 業 所	福岡市中央区天神二丁目14番2号 福岡証券ビル4階(〒810-0001)	
	名 古 屋 工 場	名古屋市港区昭和町17番地の23(〒455-0026)	
	徳 島 工 場	徳島市川内町中島575番地の1(〒771-0188)	
	高 岡 工 場	高岡市伏木二丁目1番3号(〒933-0195)	
	坂 出 工 場	坂出市昭和町二丁目4番1号(〒762-0004)	
	名古屋研究機構	名古屋市港区船見町1番地の1(〒455-0027)	
先端科学研究所	つくば市大久保2番(〒300-2611)		

取締役および監査役

代表取締役会長	山 寺 炳 彦
代表取締役社長	橋 本 太 夫
取締役	有 澤 章 夫
取締役	山 田 章 勝
取締役	野 村 聡 一
取締役	小 関 健 一
取締役	高 村 美 己
取締役(社外)	滝 澤 英 一
監査役(常勤)	滝 澤 英 寛 男
監査役(社外)	佐 藤 勝 男
監査役	幡 谷 宣 男
監査役(社外)	三 浦 良 二

東亜合成グループの主要な事業内容および主な関係会社

セグメント別	製 品	主な関係会社	
化学品事業	基礎化学品事業	苛性ソーダ、苛性カリおよび次亜塩素酸ソーダ・過塩化鉄液・液体塩素・塩酸など無機塩化物、硫酸など農業関連製品、硫酸、塩素系有機溶剤、窒素・アルゴン等の工業ガス、特殊ガス等	鶴見曹達(株)、東亜テクノガス(株)、東亜合成KOREA(株)
	アクリル製品事業	アクリル酸、アクリル酸エステル、アクリル系ポリマー・高分子凝集剤などアクリル系各種重合品、粉体塗料、建築・土木製品等	大分ケミカル(株)、日本純薬(株)、トウアゴウセイ・シンガポール・ピーティーイー・リミテッド、東亜塗装(株)、MTアックポリマー(株)
	機能製品事業	光硬化型樹脂、銀系無機抗菌剤・無機系消臭剤・無機イオン交換体・エレクトロニクス材料などの各種開発製品、一般用・工業用各種接着剤等	台湾東亜合成股份有限公司、東昌化学股份有限公司、張家港東亜迪愛生化学有限公司、トウアゴウセイ・アメリカ・インク、東亜合成香港有限公司、東亜合成(珠海)有限公司、アロンエバークリップ・リミテッド、アロン包装(株)、エルマーズ・アンド・トウアゴウセイ・カンパニー
	樹脂加工製品事業	下水道関連管工機材製品、電力・通信関連管工機材製品、介護関連および環境保全関連などの生活用品関連製品	アロン化成(株)、ミクニプラスチック(株)
	事業内容	主な関係会社	
その他の事業	東亜合成グループの商事部門、設備機器等の設計・施工・管理・修繕事業、エンジニアリング事業、ビル・駐車場等仲介・管理事業、輸送関連事業、事務業務代行等	(株)TGコーポレーション、TOAエンジニアリング(株)、東亜ビジネスアソシエイト(株)、東亜興業(株)、東亜物流(株)、北陸東亜物流(株)、四国東亜物流(株)	

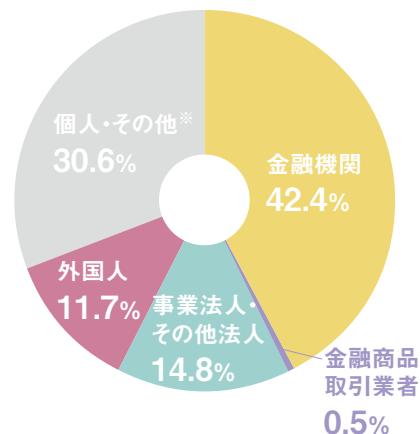
発行可能株式総数	550,000,000株
発行済株式総数	263,992,598株
株主数	25,330名

大株主の状況

株主名	株数(千株)	出資比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	22,536	8.93
株式会社三井住友銀行	11,636	4.61
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	11,080	4.39
東亜合成取引先持株会	6,535	2.59
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	5,996	2.38
東亜合成グループ社員持株会	5,824	2.31
株式会社三菱東京UFJ銀行	5,648	2.24
東京海上日動火災保険株式会社	5,300	2.10
あいおい損害保険株式会社	5,000	1.98
農林中央金庫	3,944	1.56

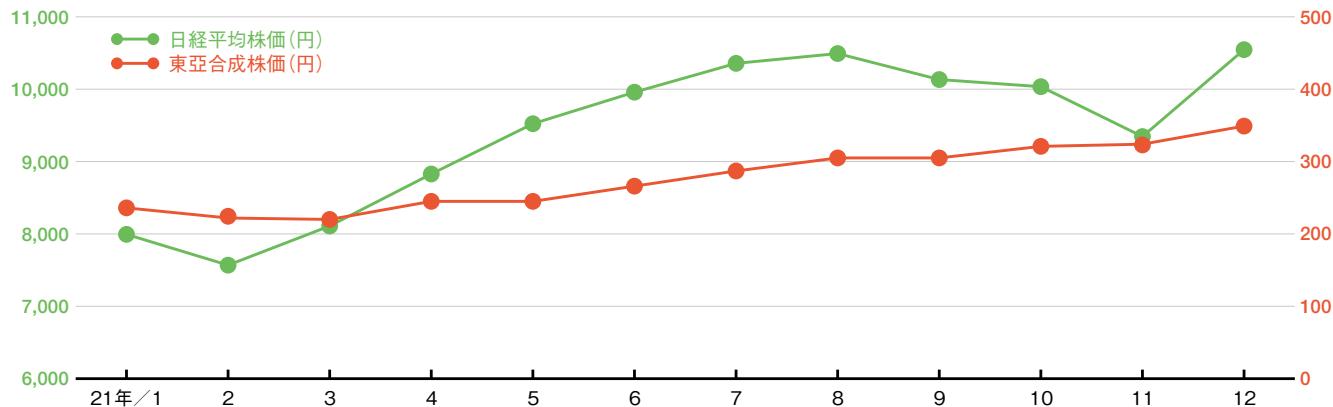
当社は、自己株式11,603,167株を保有しておりますが、上記大株主の状況からは除いております。また、出資比率は自己株式を控除して計算しております。

株式所有者別分布状況



※「個人・その他」には自己株式が含まれております。

当社株価および日経平均株価推移 平成21年1月1日~12月31日



※ 株価は、東京証券取引所における毎月の最終株価の推移です。

- 事業年度…………… 毎年1月1日から12月31日まで
- 定時株主総会…………… 毎年3月に開催
- 基準日…………… 定時株主総会・期末配当 毎年12月31日
中間配当 毎年 6月30日
- 公告の方法…………… 電子公告の方法により行います。
ただし、電子公告によることができない事故
その他のやむを得ない事由が生じたときは、
日本経済新聞(東京)に掲載します。
公告掲載URL (<http://www.toagosei.co.jp/>)
- 株主名簿管理人…………… 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
- 郵便物送付先…………… 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) **0120-78-2031** (フリーダイヤル)
取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国
各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店お
よび全国各支店で行っております。

ご案内

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

各種手続用紙のご請求について(特別口座の株主様)

以下の手続用紙のご請求については、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社の電話およびインターネットで24時間お受けしております。

- 手続用紙受付専用フリーダイヤル(自動音声) 0120-87-2031
- ホームページアドレス http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

- ・ 口座振替申請書
- ・ 単元未満株式買取請求書
- ・ 配当金振込指定書(特別口座用)
- ・ 変更届(住所・氏名・届出印等)

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金計算書」について

配当金のお支払いの際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねており、確定申告を行う際の添付資料としてご使用いただくことができます。なお、配当金領収証で配当金をお受取りの株主様につきましても、本年から配当金のお支払いの都度、「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告を行われる株主様は、大切に保管してください。



東亜合成株式会社

TOAGOSEI

〒105-8419 東京都港区西新橋一丁目14番1号

TEL.03(3597)7215 FAX.03(3597)7217

URL.<http://www.toagosei.co.jp/>